

## 心理学域報告 (2012. 4. 1~2012. 9. 30)

### I 人事異動

2012年 4月 1日

川上 直秋 特任助教 就任 [筑波大学大学院人間総合科学研究科]

藤里 紘子 特任助教 就任 [目白大学]

2012年 9月 30日

佐藤 広英 特任研究員 転出 [信州大学]

### II 学域構成員 (2012年 9月 30日現在)

		研 究 領 域							
		実 験	教育・認知	産業・社会	発 達	臨床・相談			
教 授	一谷 幸男	服部 環	岡田 昌毅	大川 一郎	石隈 利紀				
	小川 園子	原田 悦子	松井 豊	櫻井 茂男	小玉 正博				
		茂呂 雄二		濱口 佳和	藤生 英行				
准 教 授	綾部 早穂	外山 美樹	湯川進太郎	安藤 智子	青木佐奈枝				
	加藤 克紀			佐藤 有耕	杉江 征				
	山田 一夫				田中 輝美				
講 師					望月 聡				
助 教			藤 桂	島田 直子	田附あえか	寺島 瞳			
特任助教			川上 直秋	大島 由之	藤里 紘子				
特任研究員			佐藤 広英						
準 研 究 員	内海奈緒子								

## Ⅲ 心理学域教員指導論文題目一覧

## 1. 2011年度 博士論文

## (1) 課程博士

氏名	論文題目	指導教員
心理学専攻		
井上 和哉	Motion-induced Blindness の生起メカニズムの検討	綾部 早穂
鈴木 高志	将来目標が学習動機づけおよびキャリア動機づけに与える影響 — 将来への生活不安による影響の違いにも注目して —	櫻井 茂男
野上 達也	Rule-breaking under the cloak of anonymity: When ordinary people decide to deviate from existing rules	吉田富二雄
ヒューマン・ケア科学専攻		
関屋 裕希	自己の傷つきをともなう怒り感情に対する見返し対処の 機能・構造に関する心理学的研究	小玉 正博
渡部 雪子	中学生が捉えた親の期待と適応に関する心理学的研究 — 期待の認知と関連要因の検討 —	濱口 佳和
定廣 英典	日常生活における演技 — その実態と臨床的有用性に関する探索的研究 —	小川 俊樹
李 美貞	Intercultural Examinations on Body Image Concern and Body Image Coping between Korean and Japanese Women (韓国と日本女性のボディ・イメージへのとらわれと ボディ・イメージコーピングに関する比較研究)	小川 俊樹
感性認知脳科学専攻		
小澤 貴明	ラットの長期的空間記憶における海馬内蛋白質新規合成の役割	一谷 幸男
生涯発達科学専攻		
鹿嶋 真弓	中学生の充実感と担任教師による自律支援的指導態度に関する研究	田中 輝美
宮 裕昭	ケアを要する高齢者の不適応行動に対する応用行動分析的介入	大川 一郎
中村 恵子	中学校における別室登校での再登校援助システムに関する研究	小玉 正博

## 2. 2011年度 修士論文

## (1) 人間総合科学研究科

氏名	論文題目	指導教員
心理専攻 心理基礎コース		
小川 緑	ニオイへの接触がニオイの印象に与える影響	綾部 早穂

貝澤 紗希	情動刺激による注意捕捉—視野の左右差の検討—	綾部 早穂
高田 琢弘	感情および運の知覚が無謀なギャンブル行動に及ぼす影響	湯川進太郎
高田 治樹	サークル集団への態度の構造の検討	松井 豊
千鳥 雄太	青年期における自己変容に対する志向性の分析	佐藤 有耕
金 殷美	語学学習における高齢学習者の学習動機と生きがい	茂呂 雄二
張 綺	中国ジャーナリストの惨事ストレスに影響を与える要因の検討—ジャーナリズム教育を中心に—	松井 豊

#### 心理専攻 心理臨床コース

天田 正人	自分らしくいられる活動および自尊心の様態と well-being の関連—行動活性化の観点から—	杉江 征
石川万里子	青年の筆記行動がもたらす精神的健康とその背景要因の検討	佐藤 純
板垣 佳苗	被害的思いこみと自責感に関する研究	小川 俊樹
遠藤あきよ	青年期における過剰適応と自己形成との関連	濱口 佳和
清水 莉紗	対人場面での目標と行動に対する文化的自己観と情動知能の関連—アサーションの生起過程に着目して—	濱口 佳和
中田 千絵	関係性攻撃加害行為に対する意味づけに関する研究—大学生の同性友人に対する関係性攻撃加害行為に着目して—	濱口 佳和
藤城 達也	関係性攻撃への対処に関する研究—他者との協働による対処に注目して—	濱口 佳和
水野 雅之	就職不安が就職活動および適応に与える影響—サポート資源の認知と活用を緩和要因とした検討—	佐藤 純
宮前 光宏	社交不安傾向と表情刺激に対する注意の解放困難	望月 聡

#### 感性認知脳科学専攻

高野 越史	ラットの長期自発的物体再認記憶の検索過程における海馬 NMDA 受容体の役割	山田 一夫
-------	--	-------

#### 生涯発達専攻 カウンセリングコース

市川 園子	日常生活における「落ち込み」への対処としての「カラオケで歌うこと」の効果	田中 輝美
岩本 有美	中年期からの転職が及ぼす心理的影響—自己成長感に焦点を当てて—	藤生 英行
植村 久也	中国で現地採用者として働く日本人のキャリア志向—キャリア・アンカーから見る国内志向者との比較—	岡田 昌毅
浦口真奈美	養護教諭の連携への動機づけと職務認知との関係—職務への重要度の意識と悩みに焦点をあてて—	藤生 英行
大塚 裕子	リハビリテーション専門職の社会的共有を阻害する要因	大川 一郎
小野 藤子	保育士の巡回相談コンサルテーションの経験が保育所のチーム援助活性化に与える影響—「気になる子」を援助する保育士の行動に焦点を当てて—	石隈 利紀
菊入みゆき	職場における同僚間の達成動機の伝播に関する研究	岡田 昌毅
澤邊 敏子	スクールカウンセラーとの関係に対する養護教諭の意識が情報共有に及ぼす影響	石隈 利紀
高橋 卓郎	高校生のハーディネスが進学意欲と受験ストレスに及ぼす影響	小玉 正博
中尾 正寿	緩和ケア病棟看護師からみた家族の遷延化した悲嘆の要因	松井 豊

中川 陽子	子どもの不安についての親のピリーフと幼児期の 気質特性が幼児の不安に及ぼす影響	藤生 英行
波田野匡章	就職決定支援プログラムの効果分析	岡田 昌毅
濱野裕貴子	大学生の就職活動における「自己PR文」の効果的な記述	松井 豊
原 涼子	視能訓練士の熟達プロセスに関する研究	安藤 智子
福岡 秀幸	働くことへのとらわれと不成功予期場面における対処行動との関連	田中 輝美
細野 直子	既婚男性の経済的負担感および性別役割観がメンタルヘルスに与える影響	安藤 智子
堀口 康太	老年期の社会的活動における動機づけと well-being (生きがい感) の関連 —自律性の観点から—	小玉 正博
宮島 渡	認知症高齢者のBPSDと介護職員のストレスに関する研究	大川 一郎
村山 敏彦	職場における女性間のいじめ生起のメカニズムに関する検討	小玉 正博
吉田 朋子	上司との対人関係が人事評価の納得感に及ぼす影響	松井 豊

## (2) 教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻

氏名	論文題目	指導教員
浅野 雄大	ドルトン・プランが子どもの学習意欲に及ぼす影響 —「自由」と「協同」の理念に着目して—	櫻井 茂男
小嶋ともこ	子どものスピーチ不安を軽減する要因の検討 —教師と級友に対する信頼感を中心に—	櫻井 茂男

## 3. 2011年度 人間学群心理学類 卒業論文

氏名	論文題目	指導教員
明石 法子	発達性読み書き障害児における漢字単語音読の特徴 —小学生の読み書きスクリーニング検査 (STRAW) を用いて—	綾部 早穂
小川 璃奈	「聞く」よりも「聴く」方が好きになる？ —メロディへの反復接触の効果—	綾部 早穂
外山 拓未	抑制した刺激に対する単純接触効果の検討	綾部 早穂
若生 遼	触運動による空間表象の検討—4つのコップの位置を把握できるか—	綾部 早穂
岡戸 涼	ラットの遅延挿入放射状迷路行動に及ぼす前半の選択自由度の効果	一谷 幸男
竹内 一人	カクレマノミにおける社会的地位形成に関わる要因の検討	小川 園子
水尻亜希子	思春期の社会的経験の剥奪が情動・社会行動に及ぼす影響： エストロゲンレセプターβ遺伝子欠損マウスを用いた検討	小川 園子
榎 美緒	ラットの恐怖条件づけにおける ストレス誘発性増強とプロプラノロールの効果	山田 一夫
中井 大地	ラットのメタンフェタミンによる条件性場所選好における 背側海馬ドパミン受容体の役割	山田 一夫
國松 朋彦	運動学習における要約フィードバックと自己評価の効果 —変数間の補正関係の調整を必要とするスポーツの課題を用いて—	外山 美樹
田村 彩	失敗状況における気晴らしに関する研究 —失敗の捉え方の違いに着目して—	外山 美樹
水野 賢彦	学歴イメージが対人印象判断に及ぼす影響—高卒者イメージに着目して—	外山 美樹
山本 愛美	大学への進学動機から学習動機づけへの影響—時間的展望を媒介として—	外山 美樹
中田 智洋	米国大学生の性別役割、自尊感情、自己効力感との関係 —ベム性別役割調査目録 (BSRI) ジェンダータイプに注目して—	服部 環

細谷 祐希 大倉 将太	相関係数の諸検定におけるタイプIエラーに関する検討 リーディングスパンテストにおける個人差の決定要因の検討 —語彙力と読書量から—	服部 環 服部 環
後藤 由美 安 明希	援助要請意図に関連する要因の検討 タッチパネル型ユーザインタフェースの使いやすさ研究 —認知工学的検討—	服部 環 原田 悦子
服部建市郎	適応型話速変換と高齢者の談話理解： 音声—映像間非同期がテレビでの談話理解に与える影響	原田 悦子
柳川 仁美 尾崎 亜美 桐明 志朋 高橋 佳子 上條菜美子	座右の銘の構築・所有・使用に関する探索的研究 大学時代のサークル活動経験が若手社員の社会人基礎力に及ぼす影響 大学生における商品レビューの印象評価に影響する要因 服装の「似合わない」評価と評定者の被服行動との関連について 大学生アスリートのセルフ・コントロールに関する検討 —感情予測と制御焦点に着目して—	茂呂 雄二 岡田 昌毅 松井 豊 松井 豊 湯川進太郎
築城早樹子 宮田 千聖 須藤明日香 津留 寛	対人不安と自他の感情理解の関連についての検討 サイコバシー特性と自伝的記憶 近接被災者のtwitter利用がストレス反応に及ぼす長期的影響 反復接触における閾上呈示と閾下呈示の効果 —潜在・顕在指標による比較—	湯川進太郎 湯川進太郎 吉田富二雄 吉田富二雄
藪下 順子	防犯情報が環境へのリスク認知に及ぼす影響 —潜在的効果と顕在的效果の観点から—	吉田富二雄
山田 拓貴 谷 秀次郎 政所 友里 宮崎 彩花 明日山 聡 屋代 鮎子	無意識下におけるストーリー認知 あきらめと反芻・省察、およびコピーングとの関連 “自主休講”する大学生の心理学的特徴 大学生の怠惰性に関する研究 インターネットツール利用者の対人意識が生活充実感に与える影響 大学生のスポーツ経験がレジリエンスと適応に及ぼす影響 —セルフ・コントロールを適応の指標として—	吉田富二雄 青木佐奈枝 青木佐奈枝 小川 俊樹 小玉 正博
菅野 詩子 滑川 雄喜	個人特性の観点からみた「息が合う」体験の探索的検討 大学生の援助要請方法の依頼しやすさと個人特性の関連 —メディアを介した方法に注目して—	小玉 正博 杉江 征 杉江 征
服部 薫	過去のストレスフルな出来事に対する時制的統制感と 問題解決能力との関係の検討	藤生 英行
小林 美紀 巾崎 一真 青島 一樹 北島 沙希 井上 雄貴 立石真澄美	中学生の信頼できる大人の存在と信頼感がストレス反応に与える影響 シャイネスが認知バイアスに与える影響—社会恐怖との比較を通して— ユーモア作成とストレス緩和効果の関連 精神障害に対する偏見とその低減への介入 青年期後期における居場所感の構造と関連要因 児童前期の学業遂行を促進する要因の検討 —自己制御機能と知的好奇心に着目して—	藤生 英行 藤生 英行 望月 聡 望月 聡 大川 一郎 櫻井 茂男
飯尾充栄子 中本 裕子 立谷 有沙	不登校経験の意味づけ—意味づけに影響を及ぼす要因に着目して— 気遣いという側面から見た大学生の友人関係 大学生における知的障害者に対する受容的態度の形成要因の検討 —障害者との接触経験に着目して—	佐藤 純 佐藤 有耕 濱口 佳和

## IV 2011年度各種表彰など

氏名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名(掲載誌), または受賞理由
心理学域		
○青木佐奈枝	XX International Congress of Rorschach and Projective Methods Best Poster Award (XX International Congress of Rorschach and Projective Methods, 2011年7月)	Reconsider on the Color Projection of the Rorschach Test
○荒井 崇史	第3回心理学独創研究内山記念賞 (筑波大学心理学域, 2011年10月)	荒井崇史・藤 桂・吉田富二雄(2010). 犯罪情報が幼児を持つ母親の犯罪不安に及ぼす影響 心理学研究, 81, 397-405.
○石隈 利紀	2012 President's Award for Outstanding Contribution (National Association of School Psychologists, 2012年2月)	日本学校心理士会会長として, 東日本大震災において, 「子ども・学校支援チーム」を立ち上げ, 世界中のスクールサイコロジストと連携して, NASPの危機支援の資料の緊急の翻訳・翻案を行い被災地の教育委員会や学校に配布するとともに, 教員の研修や相談などの支援活動を行ってきたことに対して表彰を受けた。
○小玉 正博	平成23年度日本ヒューマン・ケア心理学会論文賞 (日本ヒューマン・ケア心理学会, 2011年7月)	片山富美代・小玉正博・長田久雄(2010). 血液透析患者の病気認知が病気適応に及ぼす影響 ヒューマン・ケア研究, 11(1), 21-31.
○小玉 正博	Award to Best Poster at 6th World Congress for Psychotherapy 2011 (World Congress for Psychotherapy, 2011年8月)	Kodama, M., Kawasaki, N., Ishimura, I., Hatori, K., Asano, K., & Ito, I. (2011). Culturally sensitive positive psychological intervention among Japanese college students (1): An overview of the program and its effects on well-being. 6th World Congress for Psychotherapy, Sydney, Austria.
心理学専攻		
○伊藤真利子 井上 和哉	「感情心理学研究」18巻優秀論文賞 (日本感情心理学会, 2011年9月)	伊藤真利子・井上和哉・佐藤和代・菊地 正(2010). 脅威刺激の検出優位性における形態特徴の重要性感情心理学研究, 18, 1-10.
○井上 和哉	平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻長賞 (筑波大学, 2012年3月)	Motion-induced Blindnessの生起メカニズムの検討, 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文
○三浦 絵美	海外渡航旅費援助 (財団法人電気通信普及財団, 2011年7月)	Miura, E., & Yoshida, F. (2011). Examination of the relationship between norms of non-involvement and social isolation. European Association of Social Psychology 2011 programme, TH P20, Stockholm, Sweden.
○川上 直秋	第18回上武学術奨励賞 (筑波大学心理学域, 2011年10月)	川上直秋・佐藤広英・吉田富二雄(2010). 単純接触がカテゴリ評価に与える効果—IATとGNATを用いて—心理学研究, 81, 437-445.

- 鈴木 高志 第3回心理学独創研究内山記念賞  
(筑波大学心理学域, 2011年10月) 鈴木高志・櫻井茂男 (2010). 内発的および外発的な利用価値が学習動機づけに与える影響の検討 教育心理学研究, 59, 51-63.
- 西村多久磨 第18回上武学術奨励賞  
(筑波大学心理学域, 2011年10月) 西村多久磨・河村茂雄・櫻井茂男 (2011). 自律的な学習動機づけとメタ認知的方略が学業成績を予測するプロセス—内発的な学習動機づけは学業成績を予測することができるのか?— 教育心理学研究, 59, 77-87.
- 村上 達也 平成23年度「発達科学研究教育奨励賞」  
西村多久磨 (発達科学研究教育センター, 2011年8月) 村上達也・西村多久磨 「児童における孤独感への対処行動が心理的適応に及ぼす影響—感情の動機づけ機能に着目して—」が採択され, 研究助成金50万円を受領した。
- 渡辺 伸子 人間総合科学研究科 TF 優秀賞  
(筑波大学大学院人間総合科学研究科, 2012年2月) 心理学類開設科目「青年心理学」における「アイデンティティ」の講義内容が優秀であると認められ, 受賞した。
- 兪 善英 2011年度大学院生等を対象とした  
海外派遣に伴う旅費支援 (筑波大学, 2011年12月) Seonyoung Yoo, Yutaka Matsui, Miho Hatanaka (2011). Perception of anxiety in family members and traumatic stress in Japanese firefighters dispatched to the disaster area of the Great East Japan Earthquake. Division of Clinical Psychology of The British Psychological Society Annual Conference 2011, #16, p74, Birmingham, England.
- 兪 善英 国際会議等参加旅費補助金  
(日本心理学会, 2011年11月) Seonyoung Yoo, Miho Hatanaka, Yutaka Matsui (2011). traumatic stress of Japanese volunteer firefighters. The 27th annual meeting of the International Society for Traumatic Stress Studies (ISTSS), S159, Baltimore, USA.

#### ヒューマン・ケア科学専攻

- 渡部 雪子 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻専攻長賞  
(筑波大学, 2012年3月) 中学生が捉えた親の期待と適応に関する心理学的研究—期待の認知と関連要因の検討—, 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻学位論文

#### 感性認知脳科学専攻

- 佐野 一広 第71回日本動物心理学会大会 最優秀発表奨励賞  
(日本動物心理学会, 2011年9月) Sano, K., Tsuda, M.C., Musatov, S., and Ogawa, S. (2011). Site-specific knockdown of ER $\alpha$  in the MPOA reduced sexual but not aggressive behavior in male mice. 動物心理学研究, 61(2), 189.

- 津田夢芽子 First Asia-Pacific Conference on Integrative Behavioral Science ポスター発表賞 First Place (The Education Committee: First Asia-Pacific Conference on Integrative Behavioral Science & Sino-Japan Joint Seminar on Neurobiological Basis of Social Behavior, 2011年7月) Tsuda, M.C., Yamaguchi, N., and Ogawa, S. (2011). Influence of early life stress on the development of social behavior. First Asia-Pacific Conference on Integrative Behavioral Science
- 仲田真理子 第71回日本動物心理学会大会 優秀発表奨励賞 (日本動物心理学会, 2011年9月) 仲田真理子・竹本-木村さやか・掛山正心・崎村建司・三品昌美・尾藤晴彦・坂本敏郎・小川園子 (2011). CLICK- III /CaMKIgamma 遺伝子ノックアウトマウスの情動・社会行動の解析 動物心理学研究, 61(2), 190.
- 仲田真理子 First Asia-Pacific Conference on Integrative Behavioral Science ポスター発表賞 Second Place (The Education Committee: First Asia-Pacific Conference on Integrative Behavioral Science & Sino-Japan Joint Seminar on Neurobiological Basis of Social Behavior, 2011年7月) Nakata, M., Sano, K., Tsuda, M.C., Toda, K., Vasudevan, N., and Ogawa, S. (2011). Inhibitory role of estrogen receptor  $\alpha$  and  $\beta$  in obesity in male mice. First Asia-Pacific Conference on Integrative Behavioral Science

## 生涯発達科学専攻

- 中村 恵子 平成23年度日本ヒューマン・ケア心理学会第13回大会ベストポスター賞 (日本ヒューマン・ケア心理学会, 2011年7月) 中村恵子・小玉正博 (2011). 学校マネジメントとチーム援助の機能との関係 日本ヒューマン・ケア心理学会第13回大会プログラム・発表論文集, 36.
- 鹿嶋 真弓 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞 (筑波大学, 2012年3月) 中学生の充実感と担任教師による自律支援の指導態度に関する研究, 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士論文
- 津村 麻紀 日本臨床心理士資格認定協会 一般研究助成 (日本臨床心理士資格認定協会, 2011年) 津村麻紀「がん医療における臨床心理士の活動モデル構築のための基礎調査研究」が採択され, 研究助成金87万円を受領した。

## 心理専攻

- 平野 美沙 国際会議等参加旅費補助金 (日本心理学会, 2011年5月) The impact of mindfulness meditation on anger. Fifth international conference on the (non) expression of emotions in health and disease (Tilburg), 152.



- 高田 琢弘 国際会議等参加旅費補助金 (日本心理学会, 2011年5月) Effects of affect and perceived luck on reckless gambling behavior. 25th National Conference on Problem Gambling
- 高田 琢弘 Best Student Poster at the 25th National Council on Problem Gambling (National Council on Problem Gambling, 2011年7月) Effects of affect and perceived luck on reckless gambling behavior. Proceedings of the 25th National Conference on Problem Gambling, 29-30.
- 高田 琢弘 日本感情心理学会第19回大会優秀発表賞 (日本感情心理学会, 2011年9月) 高田琢弘・湯川進太郎(2011). 感情および運の知覚が無謀なギャンブル行動に及ぼす影響 日本感情心理学会第19回大会発表論文集, 61.
- 石川万里子 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞 (筑波大学, 2012年3月) 青年の筆記行動がもたらす精神的健康とその背景要因の検討. 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 千島 雄太 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞, 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞 (筑波大学, 2012年3月) 青年期における自己変容に対する志向性の分析. 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 生涯発達専攻 カウンセリングコース
- 濱野裕貴子 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻長賞 (筑波大学, 2012年3月) 大学生の就職活動における「自己PR文」の効果的な記述. 平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻修士論文